

# 令和3年第3回富谷市議会定例会

## 一般質問通告書

質問順	氏名	質問順	氏名
1	菅原 福治	7	長谷川 る美
2	畑山 和晴	8	若生 英俊
3	金子 透	9	藤原 峻
4	出川 博一	10	安住 稔幸
5	渡邊 清美	11	塩田 智明
6	浅野 直子		

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	1
受付月日	8月17日(火)
受付時間	8:30

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 3年 8月 17日

富谷市議会

議長 渡 邊 俊 一 殿

富谷市議会議員 13 番 菅原 福治

質 問 方 式 一括方式 ・  一問一答方式

令和3年第3回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	菅原 福治
質 問 方 式	一括 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一問一答</span>

No. 1 質問件名 地方分権一括法施行と市制施行後の状況を問う

---

【質問要旨】－簡明に－

2000年（平成12年）に地方分権一括法が施行されてから20年が経ちました。また、2016年（平成28年）10月10日、合併を伴わずに「富谷市」が誕生し5年が経過しました。

その節目にあたり、地方分権と市制施行の歩みについて、成果及び課題はどうだったのか、次へのステップに向けてどう進めれば良いのか、伺いたいと思います。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 地方分権一括法施行20年が経過しました。法施行後の本市の成果や課題について。
- 2 市制施行後、自治基本条例制定の検討動向について。
- 3 4市町村（富谷市、大和町、大郷町、大衡村）広域連携の現状と課題について。
- 4 2市（富谷市、仙台市）広域連携の現状と課題について。
- 5 公民連携の取り組み状況について。
- 6 市制施行から5年が経過しましたが、総括した見解について。

---

答弁を求める者 市長

議 員 名	菅原 福治
質 問 方 式	一括 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一問一答</span>

No. 2 質問件名 新型コロナウイルス感染症蔓延に伴い、今後の事業の  
在り方について

---

【質問要旨】－簡明に－

新型コロナウイルス感染症の影響により、市の事業が縮小、中止となっています。

コロナウイルス感染拡大の影響により、経済的環境が変わり、歳入が厳しくなることが予想される中であっても、新たに人命や市民生活に関わる事業実施の検討も必要です。

また、多くの市民が参加するイベント等において縮小・中止になり、こうした状況が長く続けば、これまで培われてきたコミュニティの繋がりが薄れることとなります。

そこで来年度の事業等、その現状と市民に対する影響について、どのように考えているのかお伺いします。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 新型コロナウイルス感染症の影響により市の事業が縮小、中止となりましたが市民活動団体や町内会活動に対する影響について。
- 2 今年度に新型コロナウイルス感染症対策として実施した、経済施策等の検証方法と、検証時期について。
- 3 来年度の新型コロナウイルス感染症対策と各種既存事業実施の基準は。
- 4 来年度の予算編成における新型コロナウイルス感染症の影響について。

---

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	2
受付月日	8月17日(火)
受付時間	10:17

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 3年 8月 17日

富谷市議会

議長 渡 邊 俊 一 殿

富谷市議会議員 17 番 畑山 和晴

質 問 方 式  一括方式 ・  一問一答方式

令和3年第3回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議員名	畑山 和晴
質問方式	<input type="checkbox"/> 一括 <input type="checkbox"/> 一問一答

No. 1 質問件名 不登校対策について

---

【質問要旨】－簡明に－

全国の不登校数、令和元年度文部科学省発表の数字では、小学生で、約53,000人。中学校では、約127,000人となっており、宮城県においては、中学生の不登校数が全国でも突出しており、本市においても、毎年80名前後の数字が出ています。

本市でも、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置、けやき教室の運営等、対応をしていますが、なかなか不登校数の減少には繋がっていない現実があります。そこには、いじめによる要因だけではなく、様々な内容があり、理由が分からないということが実際問題としてあると思います。

今後の対応方針を踏まえ、不登校の対策について質問します。

---

【質問項目】－列記－

- 1 これまでの不登校対策の成果と課題は。
- 2 学校に來れない理由の中で、難しい問題は。
- 3 保護者と担任、生徒指導の先生との信頼関係の構築はどのように行っていますか。
- 4 宮城県教育委員会が、2020年に「学び支援教室」の運営を始めましたが、効果はどれ程あったのですか。
- 5 文部科学大臣が学校教育法施行規則に基づき指定する、不登校特例校が全国で17校ありますが、今後この特例校の設置についての展望は。

---

答弁を求める者 教育長

議 員 名	畑山 和晴
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 通学路の安全対策について

---

【質問要旨】－簡明に－

6月28日、千葉県八街市において、トラックが電柱に衝突し、下校中の児童の列に突っ込み、2名が亡くなり、3名が重傷というとても痛ましい事故がありました。

この場所は以前より、地域の方やPTAからガードレール等の安全対策についての要望があったそうで、行政の対応に不満があったとニュースでの報道がありました。

また、6月定例会での私の一般質問「公共物の安全確認について」の中で、鉄製の標識の根元付近が、犬や猫のおしっこによって腐食している箇所があると質問しました。実際、今年2月、三重県鈴鹿市で信号機が根元から折れ、その原因が犬のおしっこが原因と特定されました。2017年には、さいたま市で道路標識が同じ理由で折れ、女性が怪我をした事故もありました。

本市においては、通学路における安全対策はしっかりしていると思います。しかしながら、それでも見落としている箇所や、地域、PTAからの情報の収集は、改めて必要ではないかと思い、質問します。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 千葉県八街市の事故後、危険箇所の確認は再度行いましたか。
- 2 大通りに面する通学路で、改善すべき場所はありますか。
- 3 地域の方や、学校、PTA等からの要望があると思いますが、その対応は。
- 4 担当課による、地域の方、学校、PTA等からの情報収集は必要ではないか。
- 5 通学路の標識、カーブミラー等の設置物の腐食の確認も必要であると思いますが、見解は。

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	3
受付月日	8月17日(火)
受付時間	10:35

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 3年 8月 17日

富谷市議会

議長 渡 邊 俊 一 殿

富谷市議会議員 7 番 金子 透

質 問 方 式  一括方式 ・  一問一答方式

令和3年第3回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	金子 透
質 問 方 式	<input type="checkbox"/> 一括 <input type="checkbox"/> 一問一答

No. 1 質問件名 図書館等複合施設整備を問う

---

【質問要旨】－簡明に－

「富谷市複合施設整備基本方針及び民間活力導入可能性調査」が6月に示されました。図書館単独整備から変更が重ねられ、現在に至っております。

早くても令和7年度供用開始と、当初計画から大幅に遅れる事や、施設近辺の交通環境対策が不十分な事などから、更なる計画の変更は必須であると思われまます。計画の変更で財政的な負担が増大しても、その見返りは十分得られると確信します。将来に不安を抱えたまま施設を整備し、次世代に引き渡すべきではないと考え、以下の質問をします。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 複合施設建物と駐車場は同一の敷地である事が最良と考えますが見解は。
- 2 成田公民館西側又は北側の土地を買収して、更には市道を変更又は廃止するなどして、土地を有効活用すべきと考えますが見解は。
- 3 駐車場に計画している土地を売却して、新たな土地買収の財源にすべきと考えますが見解は。
- 4 目的の異なる3つの施設を1つの建物にする事の必然性や考え方の見解は。
- 5 図書館施設を単独先行整備すべきと考えますが見解は。
- 6 成田西地区、成田東地区の開発後の姿は本調査に反映されていますか。
- 7 本調査は大幅な変更が必要と考えますが見解は。

---

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	4
受付月日	8月17日(火)
受付時間	16:19

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 3年 8月 17日

富谷市議会

議長 渡 邊 俊 一 殿

富谷市議会議員 14 番 出川 博一

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和3年第3回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	出川 博一
質 問 方 式	一括 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一問一答</span>

No. 1 質問件名 「とみやど」今後の運営はいかに

---

【質問要旨】－簡明に－

富谷宿観光交流ステーション「とみやど」が、5月15日にオープンしました。「とみやど」は、富谷宿開宿400年を記念する事業として、昨年10月10日にオープン予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大により延期となり、今春オープンすることができました。

しかし、当面の間、時短営業を余儀なくされています。

オープン当初から、市内外の多くの方が訪れ賑わいを見せていると伺っています。

「とみやど」の運営等について、質問します。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 この事業は、「地方創生拠点整備交付金」を活用。K P Iの目標と実績は。
- 2 地域おこし協力隊の活動支援の状況は。
- 3 4月に委託した「富谷市観光交流拠点推進事業」の進捗状況は。

---

答弁を求める者 市長

議員名	出川 博一	
質問方式	一括 <table border="1"><tr><td>一問一答</td></tr></table>	一問一答
一問一答		

No. 2 質問件名 水道事業 本市への影響は？

【質問要旨】－簡明に－

8月1日が水の日で、8月1～7日は「水の週間」でした。

本市の上水道事業は、宮城県の「仙南・仙塩広域水道事業」と「大崎広域水道事業」から水を購入しています。

また、下水道事業では県運営の「吉田川流域下水道事業」を利用し、運営及び建設負担金を支払い、企業債償還（借入金返済）をしています。

宮城県の上下水道と工業用水道の20年間の運営権を、民間に一括売却する「みやぎ型管理運営方式」は7月5日の県議会本会議で可決されました。

宮城県の上下水道事業と本市の上下水道事業は、切っても切れない密接な関係にあり、以下の質問をします。

【質問項目】－列 記－

- 1 今後の県の「みやぎ型管理運営方式」のスケジュールと本市への影響について。
- 2 可決された県の制度そのものが難解で、わかりにくいとの声がありますが、どのように対処するのか。
- 3 富谷市水道事業基本計画（平成31年3月発行）と、富谷市下水道経営戦略（平成30年3月策定）の長期的計画の意味するところは。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	5
受付月日	8月18日(水)
受付時間	10:15

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 3 年 8 月 18 日

富谷市議会

議長 渡 邊 俊 一 殿

富谷市議会議員 5 番 渡邊 清美

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和3年第3回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議員名	渡邊 清美
質問方式	一括 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一問一答</span>

No. 1 質問件名 高齢者への補聴器購入補助を問う

---

【質問要旨】－簡明に－

高齢化に伴う「加齢性難聴」は、治療が難しく補聴器で聴力を補う対策が中心です。

難聴は認知機能低下の一つの要因とも考えられ、補聴器の装用が認知機能の低下を防ぐ可能性も指摘されています。

補聴器は高価なもので、購入するには負担も大きく諦めるしかありません。助成を行う自治体は少しずつ増えているものの、全国的には多くありません。

小児や身体障がい者には、公的補助制度がありますが、一般の難聴者に対する補助制度はありません。

認知症予防のためにも、補聴器購入時の補助が必要と考え以下質問します。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 加齢による難聴は気づかないうちに進行している事があります。定期的な受診も必要です。市として受診の啓発が必要と考えますが、見解は。
- 2 難聴の高齢者には、聞こえないことでの疎外感もあることから、高齢者への補聴器購入の財政支援が必要と考えますが見解は。

議 員 名	渡邊 清美
質 問 方 式	一括 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一問一答</span>

No. 2 質問件名 農業施策と鳥獣対策を問う

【質問要旨】－簡明に－

連日のように市内には熊が出没しています。

熊だけではなく、狸、猪、ハクビシン等の被害も多く聞かれています。

猪が家庭菜園まで入り込み、畑を掘り返し、樹木の実を狙って空き家に入り込んでいるケースもあります。

ハクビシン等は、特産品の果樹を栽培しているビニールハウスにも入り込み被害が拡大しています。

電気柵の設置にも自己負担額が増えており、補助金の増額、使いやすい支援が必要と考えます。

また、農業施策の推進として、特産品の栽培に「専門的な指導者が必要」との声や、「資材購入費の補助」を求める声も聞かれています。

市内での新規就農希望者に対する支援の充実、分かりやすい支援も必要です。富谷市の特産品を守ることにもつなげる鳥獣対策、新規就農者への支援を充実させることが必要と考え以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 鳥獣の生息数、生息場所を把握することで適切な対策が立てられます。生息数、出現場所の把握はしていますか。
- 2 家庭菜園等の個人の被害の把握はされているのか。
- 3 農家に対する、電気柵等の罠に対する補助金の見直しが必要と考えますが、見解は。
- 4 駆除対策の検証はされていますか。
- 5 空き家への鳥獣対策として草刈り、樹木の剪定等、空き家所有者への指導が必要と考えますが、見解は。
- 6 特産品の栽培に専門家の支援が必要と考えますが見解は。
- 7 新規就農者への支援が必要と考えますが見解は。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	6
受付月日	8月18日(水)
受付時間	10:46

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 3年 8月 18日

富谷市議会

議長 渡 邊 俊 一 殿

富谷市議会議員 15 番 浅野 直子

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和3年第3回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議員名	浅野 直子
質問方式	一括 <input type="checkbox"/> 一問一答 <input checked="" type="checkbox"/>

No. 1 質問件名 空き家対策の推進について

---

【質問要旨】－簡明に－

長年にわたる空き家問題は、富谷市空き家等対策計画に基づき、昭和40～50年に団地開発が進められてきた地区をかわきりに調査が進められ、その後、市内全地域に調査が実施されています。

特に、高齢者世帯や一人世帯の状況から見える、空き家の課題等も増える傾向にあるのではないかと考えます。

空き家を取り巻く周辺環境への悪化も懸念され、5か年計画の中でどのような事が改善されたのか。さらには今後に向けた課題について問います。

また、団地内の空き地管理に対する問題等についての対応を求めます。

---

【質問項目】－列記－

- 1 空き家の現状を80戸程度と認識していますが、全ての所有者との連携、連絡等の状況を伺います。
- 2 空き家の実態調査は、シルバー人材センターが全て行うのか、仕組みについて伺います。
- 3 市民向けセミナーの開催を行い、所有者への啓発を推進すると伺っていますが、進捗状況について伺います。
- 4 空き家等の利活用についての取り組みを伺います。
- 5 富谷市空き家等対策計画による取組み、啓発により解体等に結びついたケースがあったのか伺います。
- 6 空き家、空き地等を取り巻く環境問題の課題を伺います。
- 7 空き家等を発生させない取組み、事前の相談体制と管理意識が問われますが、今後どのように対策を講じるのか伺います。

---

答弁を求める者 市長

議員名	浅野 直子
質問方式	一括 <input type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/>

No. 2 質問件名 公民館図書室について問う

---

【質問要旨】－簡明に－

2025年に富谷市図書館等複合施設開所予定時期が示されました。

現存する各公民館図書室の利用もある中で、各図書室のリノベーションの方向はあるのか。公民館の老朽化も進む中で、今後に向けた公民館図書室の全体の課題等について伺います。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 公民館図書室のリノベーションについて計画はあるのか伺います。
- 2 公民館図書室の課題を伺います。
- 3 コロナ禍での対策は大変だと思いますが、大きく改善された部分について伺います。
- 4 今後、公民館から離れた場所での移動図書などの考えを伺います。

---

答弁を求める者 教育長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	7
受付月日	8月18日(水)
受付時間	11:32

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 3年 8月 18日

富谷市議会

議長 渡 邊 俊 一 殿

富谷市議会議員 11 番 長谷川 る美

質 問 方 式  一括方式 ・  一問一答方式

令和3年第3回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	長谷川 る美
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 さらなる通学路の安全確保と見守り体制の強化について

【質問要旨】－簡明に－

近年、子どもたちが学校の登下校途中はもとより、日常生活のあらゆる場面で様々な事件・事故に巻き込まれ、時には幼い命が奪われるという痛ましい出来事が身近な社会で起こっています。

今年6月28日千葉県八街市の市道で、小学生を巻き込んだ痛ましい事故が起きました。そして危険だと言われていた通学路への対策が、幼い命が犠牲となり、ようやくとられることになりました。このようなことが、今後繰り返されては絶対にいけないと思いました。

また、7月に参加したスクールガード養成講習会では、子どもたちを巻き込んだ事件や事故が多発しているにもかかわらず見守り活動をしている方たちが不足している実情を学びました。以上のことから、さらなる通学路の安全確保と見守り体制の強化等の取り組みが必要であると考え、以下質問致します。

【質問項目】－列 記－

- 1 千葉県八街市の事故に対する、市の認識は。
- 2 スクールガード等の不足について市の認識は。
- 3 ローソン富ヶ丘店から鷹乃杜に向かう歩車道の区別のない通学路の安全確保策としてガードパイプ設置の考えは。
- 4 通学路における「ゾーン30」に対する本市の取り組みは。
- 5 通学路の表示や標識、安全確保のための注意喚起や安全行動を促す表示類の設置を見直す考えは。
- 6 通学路となる富ヶ丘交差点の歩道橋建設の整備スケジュールと、整備促進のための積極的な働きかけが必要では。

議 員 名	長谷川 る美
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 脱炭素社会の実現について

---

【質問要旨】－簡明に－

2020年10月菅首相は、臨時国会における所信表明演説の中で「我が国は2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにし、脱炭素社会の実現を目指す。」と宣言しました。今、世界中で問題となっている異常気象の原因の一部と言われているものが地球温暖化です。日本だけでなく、世界の国々が対策を講じていますが、温暖化の原因となっている二酸化炭素排出量を抑制していくカーボンニュートラルという概念が、地球温暖化対策の軸として扱われるようになってきました。

本市においても、2017年8月から、環境省委託事業の低炭素水素技術実証事業をいち早くスタートし、今年2月10日に「ゼロカーボンシティ」を宣言致しました。

私たちが、将来にわたって安全で安心して暮らすことができる豊かな環境を未来に引き継いでいくために、今なにをすべきか国や企業のみならず、私たち一人一人で行える小さな省エネの工夫等も大切であると思います。私たちの愛着ある地元の風景を、日常を、未来に繋げていくために、皆が心をつなげて、「今」行動することが大切だと思い、以下質問致します。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 市が目指すゼロカーボンシティとは。
  - 2 ゼロカーボンシティへの現在の取り組み。
    - ① 小中高生を対象とした持続可能な社会を目指したサイエンス教育の課題と今後について。
    - ② 大亀山森林公園や都市公園の適切な整備、維持管理にあたり、CO2吸収源対策はとられていますか。
    - ③ 生活ごみの16種類の分別収集体制によるごみの減量・資源化の推進をより強化するための方策は。
  - 3 脱炭素社会実現のための障害となる現在の高コスト構造について、どのように考えていますか。
- 

答弁を求める者 市長

---

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	8
受付月日	8月18日(水)
受付時間	13:28

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 3年 8月 18日

富谷市議会

議長 渡 邊 俊 一 殿

富谷市議会議員 10 番 若生 英俊

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和3年第3回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議員名	若生 英俊
質問方式	一括 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一問一答</span>

No. 1 質問件名 複合施設の具体的整備内容の明示を問う

---

【質問要旨】－簡明に－

令和3年7月15日、富谷市複合施設整備基本方針及び民間活力導入可能性調査の内容の説明を受けた。調査内容の説明にとどまり、複合施設整備の全体像がまだ見えない。

本市の複合施設整備にあたり、この調査の結果をもとに、本市としての具体的な事業計画、事業手法、財源計画、供用開始時期など計画の絞り込みが必要である。

具体的な計画、整備工程等を早期に明示し、そのうえで、議論を重ね、広く市民の意見を聴取する必要があると考え、以下、質問します

---

【質問項目】－列記－

- 1 複合施設の立地適地は大清水市有地と考えるが、成田公民館敷地内の優位性は。
- 2 図書館を複合施設の核と位置づけない理由は。
- 3 整備関係部署が教育部、保健福祉部、経済産業部、建設部にまたがるが、中核となる「複合施設整備推進室」などの体制が必要では。
- 4 児童屋内遊戯施設の圏域人口係数を3.35としているが、適切な指数か。
- 5 市内、市外別の利用者比率の見込みは。
- 6 児童屋内遊戯施設使用料を年間1億円余と見込んでいるが、市内利用者の減免は。
- 7 複合施設整備について、市民への説明会の場を設け、意見を聴取すべきでは。
- 8 供用開始の明示時期は。

---

答弁を求める者 市長

議 員 名	若生 英俊
質 問 方 式	一括 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一問一答</span>

No. 2 質問件名 「人生学」発刊の意義と記述内容の誤植・表記の不統一について問う

---

【質問要旨】－簡明に－

内ヶ崎作三郎著「人生学」復刻版・抄録が令和3年7月20日に初版発刊された。発行予定部数2,000冊、予算額156万5,000円を充てているが、誤植、誤記、表記の不統一がかなりあり、著作の信頼を著しく損ね、発行元の本市の信用を傷つけることにもなる。

本著は、大正11(1922)年12月に行った、名古屋市教育委員会主催の冬期講習会での講演録をもとに大正15(1926)年2月に刊行された原著「人生学」の復刻版・抄録となる。

また、令和3年7月28日、産業建設常任委員会で、『「とみやど」を拠点とした地域振興と観光施策について』の所管事務調査を行った。内ヶ崎作三郎記念館の説明表記と「人生学」の表記に記述不一致が散見され、早期に訂正、修正等の対応が必要である。

100年前の講演内容の抄録を発刊し、広く市民に伝えようとするねらいは何か、本市発行の著書の記述に誤植等が多いことから、以下、質問します。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 「人生学」復刻版・抄録を発刊するねらいは。
- 2 発刊はどのような手続きを踏んで行われたか。
- 3 著作の校閲は徹底されたか。
- 4 誤植・表記不統一等の対応は。
- 5 「復刻版の発刊にあたって」の記述に関して。
  - ① 「現在においても、論じられている共通の課題」とは。
  - ② 「講演から100年後の今を生きるものへの著者のメッセージ」とは。
  - ③ 「著者の志を追求することが求められる」追求すべき志とは。
- 6 「人生学」復刻版・抄録をどのような方法で頒布するのか。

---

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	9
受付月日	8月19日(木)
受付時間	9:53

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 3年 8月 19日

富谷市議会

議長 渡 邊 俊 一 殿

富谷市議会議員 6 番 藤原 峻

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和3年第3回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	藤原 峻
質 問 方 式	一括 <input type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/>

No. 1 質問件名 市営墓地について

---

【質問要約】－簡明に－

市営墓地に関して、過去の答弁で生前予約を取れると述べていました。夫が亡くなった状態で、市営墓地を待っている方がいます。妻の方が「自分も亡くなった時に一緒に入りたいのだけど」、というお話がありましたが、生前予約というものが可能なのか伺います。

また、今後の運営方針などに関して、伺います。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 市営墓地の価格の確定や、購入ができるまでの今後のスケジュールは。
- 2 集合墓地の生前予約は可能か。また、代金支払いは一括か、分割か。
- 3 身寄りのない人の遺品整理や葬式などの死後事務について、他自治体では社協が取り組み始めています。検討してはどうか。
- 4 市営墓地の需要が多くなったときの増設はありえるのか。また、他自治体の公営墓地との連携は考えているのか。
- 5 市営墓地全体の運営・管理体制（見回り、清掃、供物・ゴミの処理、除草など）とその予算はどのように検討されているのか。
- 6 公共交通でのアクセスはどのように検討するのか。

---

答弁を求める者 市長

議員名	藤原 峻
質問方式	一括 <input type="checkbox"/> 一問一答 <input checked="" type="checkbox"/>

No. 2 質問件名 文化のまち富谷としての施策強化は

【質問要旨】－簡明に－

住みたくなるまち日本一を目指す本市において、住んだ後の文化的生活は豊かさの指標となります。

行政財産については、地方自治法にて「行政財産の用途・目的を妨げない限度において、一定の条件の下、貸付等を行うことが可能である」と規定されています。国土交通省(2015)「都市空間における公共空間の利活用に関するアンケート結果(市区町担当者対象)」結果の概要では、整備時点とは異なる用途や領域で活用している公共空間の事例として官公庁施設が31.6%で一位、市役所の広場や駐車場の貸し出し事例が多数紹介されています。

文化ホールがない中で、市役所の広場や駐車場は市民にとって発表の場となります。特に市役所の広場は芝生で、ロケーションも素晴らしく、富谷の、そして市民にとっての宝です。行政財産も税金が元となっており、市民が活用しやすい形にしていく必要があると考えます。

また、カルチャーを育てるため、スケボーやスラックラインで使用できる場所の貸し出しについても質問します。

【質問項目】－列記－

- 1 行政財産の貸し出しに関する市の見解は。
- 2 国交省へ聞き取りしましたが、市役所における広場は目的がないため、貸し出しはしやすいと回答がありました。市役所広場の利用促進を検討してはどうか。
- 3 庁舎市民ホールなどの公共空間利活用について、市民がより使いやすくなるように、市民とともに検討してはどうか。
- 4 コロナ禍での市民や民間主催イベントへの市からの名義後援の許可における感染対策に関する基準などが必要では。
- 5 カルチャーを育む上で、実施できる場所はまさに土台です。例えば、スケボーをSEIYUの下にある市有地で、大亀山でスラックラインのようにスケボーやスラックライン、他にボルタリングを行える場所を市として設置してはどうか。

答弁を求める者 市長

議 員 名	藤原 峻
質 問 方 式	一括 <input type="checkbox"/> 一問一答 <input checked="" type="checkbox"/>

No. 3 質問件名 図書館設置について

---

【質問要旨】－簡明に－

今回、複合施設整備に関する報告書が出されました。その中で、図書館建設の手法として従来方式か、DB方式が検討されているということでした。しかし、DB方式は一括で発注するため、コストが安くできる反面、柔軟な対応が困難であり、図書館には合わないとも言われています。そのため、全国でも事例が少ないです。特に重要なことは、市民意見が反映できることです。また、2400㎡にという署名がありましたが、図書館の1700㎡から80㎡を増やし、共用部を合わせて2000㎡は少ないと感じます。特に、予算面で8億円の予定が、7億6,540万円と予定よりも少なく見積もられていました。富谷の目玉となる施設です。12億円ありきではない、予算付けが必要だと考えます。

また、公共施設の省エネや再エネの推進について国も補助金を交付する動きがあります。今後の富谷市の自然エネルギー計画に関する実行策としても関連しており、複合施設建設と合わせて再エネ、省エネの導入も検討すべきでは。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 設計への市民意見の反映はどのように考えているのか。
  - 2 DBは安くなる可能性はあると思いますが、どのくらい安くなるのか図書館としてのデータはあるのか。また、従来方式でコストを下げる方法は検討できないのか。
  - 3 従来方式か、DB方式か、どのように決定するのか。
  - 4 建設に関しては、より良いものを作るうえで、柔軟に対応しやすい従来方式の方が良いのでは。
  - 5 児童遊戯施設として事前アンケートはとっているが、決定した内容を複合施設としての市民報告会が必要では。
  - 6 図書館建設に関しては、8億円をしっかりと使った予算で考えるべきでは。
  - 7 太陽光発電の設置など再エネや、空調、断熱、照明等に関する省エネの考えは。
- 

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	10
受付月日	8月19日(木)
受付時間	11:35

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 3年 8月 19日

富谷市議会

議長 渡 邊 俊 一 殿

富谷市議会議員 16 番 安住 稔幸

質 問 方 式  一括方式 ・  一問一答方式

令和3年第3回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議員名	安住 稔幸
質問方式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 低所得の多子世帯の保育料に係る負担軽減措置への対応について

---

【質問要旨】－簡明に－

内閣府より、令和3年8月6日付で、複数の特定被監護者等がいる教育・保育給付認定保護者に関する利用者負担額の特例に係る対応についての通知がなされました。

通知発出の背景は、平成28年以前は、例として、中学生のお子さんがある場合、年収360万円未満であっても中学生を第1子としてカウントすることができなかったものが、平成28年に行った政令改正により、カウントされるようにしたものです。

また、年収約360万円未満の保育料について第2子は半額、第3子以降は無償となっていますが、保育園に通っていない未就園児や認可外に通っている場合は、その子を第2子、第3子等にカウントしないこととされています。

しかし、当時の内閣府の自治体向け説明資料には、明確に未就園児であっても認可外であっても計算に含めるということが記載されており、政令内容と異なる説明をしていたことが判明しました。このことにより、自治体によって運用が異なる実態を把握したことから、今回、通知の通りの対応を取る方針が決定し、この通知が発出されました。以下、質問します。

---

【質問項目】－列記－

- 1 富谷市の低所得の多子世帯の保育料に係る負担軽減措置の現状と今後の対応は。

議 員 名	安住 稔幸
質 問 方 式	<input checked="" type="checkbox"/> 一括 <input type="checkbox"/> 一問一答

No. 2 質問件名 軽自動車納税証明書オンラインシステム導入を

【質問要旨】－簡明に－

情報通信技術（IT）を活用し、軽自動車以外の普通自動車等の自動車登録・検査、納税・申告等の行政手続をオンラインでできる「自動車保有関係手続のワンストップサービス（OSS）」が構築され、利用されています。

自動車保有関係手続の申請数は年間4,000万件以上であり、申請代行手数料や事務負担の軽減などができており、そのメリットは大変大きいものです。その一つに、納税証明書情報のオンライン化です。継続検査等において、自動車税を納税した際に発行される自動車税納税証明書を提示する必要がありますが、平成29年から、運輸支局等と都道府県税システムをオンラインで接続され、自動車税納税証明書の提示の省略が可能となり、納税証明書の発行事務が、大幅に省力化されました。

しかし、軽自動車においては、まだ手続きの電子化が進んでいないところもあります。その一つが軽自動車税の納税証明書情報のオンライン化です。現在は、紙による納税証明書の提出となっています。継続検査等で納税証明書を紛失している場合は、市役所の窓口で納税証明書の発行手続きに出向かなくてはなりません。オンラインで納税状況を確認できれば、大変大きなメリットと考えます。

富谷市においても、納税者とディーラーの利便性の向上と、行政の業務の効率化を図るために、システムの改修に取り掛かるべきです。以下、質問します。

【質問項目】－列記－

- 1 富谷市の軽自動車の保有台数は。（令和3年度課税台数）
- 2 令和2年度に軽自動車納税証明書（継続審査用）を申請された件数は。そのうち、所有者からの申請件数及びディーラー等からの申請件数は。
- 3 軽自動車税納税証明書のオンライン化推進の本市の対応は。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	11
受付月日	8月19日(木)
受付時間	11:59

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 3年 8月 19日

富谷市議会

議長 渡 邊 俊 一 殿

富谷市議会議員 4 番 塩田 智明

質 問 方 式  一括方式 ・  一問一答方式

令和3年第3回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議員名	塩田 智明
質問方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一括 <input type="checkbox"/> 一問一答

No. 1 質問件名 不登校児童等支援の更なる強化を

---

【質問要旨】－簡明に－

本市は、不登校や不登校傾向の児童生徒、その保護者及び学校等への支援を行ってきた「とみや子どもの心のケアハウス」を、相談や支援の機能をより充実させて、新たに「富谷市教育支援センター」を令和3年4月1日に開設し、約5ヵ月が経過しました。

教育民生常任委員会では、富谷市の不登校児童生徒の社会的自立に資する施策に繋げていければとの考えから「富谷市教育支援センター」について所管事務調査を行いました。

職員の皆さんは、集団生活の適用が難しい児童生徒との信頼関係を構築し、各機関と連携を図りながら大変ご苦勞されて取り組まれています。令和2年度の学校訪問実績が中学校460回に対し、小学校は12回と極端に少ない状況や今後は保護者の心のケアの充実が求められる等、さらなる体制強化が今後の課題であると考え、以下質問します。

---

【質問項目】－列記－

- 1 教育支援センターとして強化した機能の具体的な取り組みと現時点での評価は。
- 2 今後の相談件数の増加が見込まれることから、さらなる体制強化が必要と考えますが、見解は。
- 3 コロナ禍での休校や不登校時の家庭学習などで、GIGAスクール構想で整備したタブレットの活用が求められますが、見解は。
- 4 保護者の心のケアが大切と考えますが、現状と今後の取組みについての考えは。

---

答弁を求める者 教育長